

**イメージング文化研究所が「将来のイメージングのあり方」を基本テーマに
「第2回 イメージングに関する研究論文」を公募**

2004年7月1日

コニカミノルタテクノロジーセンター株式会社(社長 小野寺 薫)のイメージング文化研究所は、研究課題であります「将来のイメージングのあり方」を基本テーマとして、第2回目の研究論文を募集します。応募締め切りは2004年8月31日です。

「イメージング文化研究所」は、来るべきユビキタスイメージング社会における、ライフスタイルやビジネススタイルの変化を調査・研究することを狙いとして設立されました。

従来、事業の展開は、技術やシーズを中心に戦略の展開が図られてきました。これからは、人のライフスタイルや行動面を研究し、事業戦略に生かしていく必要があります。コニカミノルタでは、「イメージング」分野で将来を予測し、感動創造につなげる「新しい価値の創出」を目指しております。そのためには、イメージングを取り巻く社会変化と、そこに生活する人の行動変化を予測し、戦略に生かせる水先案内人としての役割が研究所としての大切な役目と考えております。

【基本テーマの趣旨】

デジタル家電社会やユビキタスインフラがますます加速する中、個々人の価値観も多様化している現代、写真や画像をはじめとするイメージングの世界が大きく変化することが予想されます。10年先の社会や人の行動を予測し、人間の感性に関わりを持つあらゆるイメージングの研究や、イメージングが切り拓く可能性を追求した研究論文を募集いたします。

【対象となる研究論文】

下記の研究テーマより選択可能といたしますが、それに類する独自テーマでも可能です。

- ・写真文化の将来予測または消費者が写真を活用し、楽しむシーンの将来予測
- ・カラーイメージ画像を活用したオフィスのワークフローの変化とその影響
- ・芸術、アート分野における人の価値観の変化と影響
- ・社会学、心理行動学から見た写真、画像、映像等のイメージがもたらす将来のイメージング文化
- ・画像ソフトの進化がもたらすデジタル写真文化の世界とその将来像

今回の公募では、現在研究が進められている、若しくは研究結果としてまとまっている論文を提出していただき、選考の後、最高4件までを優秀賞として表彰し、賞金は1件50万円といたします。また、提出していただいた研究論文において、さらに将来性が見込めるものにつきましては、選考の結果、追加研究支援、委託研究、若しくは共同研究も検討していく予定です。応募要領の詳細は別紙のとおりです。

お問い合わせ先

報道関係： コニカミノルタホールディングス(株) 広報グループ

Tel: 03 - 6250 - 2100

一般の方： コニカミノルタテクノロジーセンター株式会社 イメージング文化研究所

Tel: 03 - 3349 - 5222